第3グループ	1　発行状況	2　発行・配布					3　編集体制		
		（1）発行回数・発行部数（1回あたり）	（2）発行時期（発行月）	（3）平均発行所要日数	（4）配布先（各世帯以外で）	（5）年間発行経費（令和5年度見込み）	（1）編集委員会名	（2）編集委員及び担当職員数	（3）編集作業
南関町『南関町議会だより山郷』	議会単独	年4回 3,900部	5月、8月、11月、2月	４０日	図書館	（予算）879,000円 1部あたり約56円	広報常任委員会	編集委員４人	議員のみ
長洲町『潮さい』	議会単独	年4回 6,000部	5月、8月、11月、2月	６０日	図書館、公民館、学校、認定こども園・保育所	（予算）807,840円 1部あたり約34円	広報調査特別委員会	編集委員７人 担当職員１人	議員・事務局合同
西原村『西原村議会だより ゆうすい』	議会単独	年4回 2,100部	2月、5月、8月、11月	３０～４０日	図書館、学校、商工会、社会福祉協議会、駐在所など	（予算）984,000円 1部あたり約117円	議会広報常任委員会	編集委員５人 担当職員１人	議員のみ
氷川町『氷川町議会だより 清流ひかわ』	議会単独	年4回 4,100部	5月、8月、11月、2月	３０日	庁内関係部署	（予算）600,000円 1部あたり約37円	氷川町議会広報調査特別委員会	編集委員４人 担当職員１人	議員・事務局合同
菊陽町『きくよう』	議会単独	年4回 19,000部	6月、8月、11月、2月	３０日	近隣市町村（５市町村）、庁内各課	（予算）3,121,000円 1部あたり約41円	広報調査特別委員会	編集委員６人 担当職員１人	議員のみ
嘉島町『かしま議会だより』	議会単独	年4回 4,020部	4月、7月、10月、2月	５０日	地域振興局、郡町村会、郡内町議会、保育園、消防本部、交番、郵便局、学校など	（予算）533,000円 1部あたり約33円	広報特別委員会	編集委員６人 担当職員１人	議員・事務局合同
益城町『議会だより 清水』	議会単独	年4回 12,300部	4月、7月、10月、2月	４０日	図書館、新聞社、銀行、郵便局、学校	（予算）1,420,000円 1部あたり約29円	議会広報編集特別委員会	編集委員６人 担当職員１人	議員・事務局合同
相良村『議会だより さがら』	議会単独	年4回 1,610部	5月、8月、11月、2月	１４日	村内小・中学校、ＪＡ、商工会、温泉施設、森林組合	（予算）792,000円 1部あたり約123円	広報発行特別委員会	編集委員６人 担当職員２人	議員・事務局合同

第3グループ	4　一般質問の掲載						
	（1）文字数の制限（1人あたり）	（2）質問原稿の作成者	（3）執行部答弁原稿の作成者	（4）質問関連写真の準備	（5）原稿締切日	（6）上記以外で、原稿提出に関する取り決め事項	（7）一般質問を広報紙に掲載するにあたり、気を付けていること、苦労していること
南関町 『南関町議会だより 山郷』	1,300字以内	議員本人	議員本人	広報委員会	広報委員会開催の前日まで	・文字数 1,100～1,300 ・文章表現を「だ・である調」に統一	誤字脱字に注意。また、極力客観的に。
長洲町 『潮さい』	850字以内	議員本人	議員本人	議員本人 事務局	広報調査特別委員会開催日の前日正午まで	・一問一答方式で、会議録と内容が一致していること。また、一致しない場合は、広報委員で編集することを了承すること。 ・関連写真等にはキャプションをつけること。 ・記者ハンドブックに記載がない表現は使わない（使う場合はルビを振る）、末尾を「～である。」調に統一する等、文章のルールを決めている。	【気を付けていること】 ・可能な限り、データでの提出を促している。 ・事実に即した正確な内容であることを、広報委員が会議録で確認している。 【苦労していること】 ・実際のやり取りと主旨が異なる原稿の提出があった場合の、会議録との照合と原稿作成者との調整。
西原村 『西原村議会だより ゆうすい』		議員本人	議員本人	議員本人	広報委員会開催の前日		
氷川町 『氷川町議会だより 清流ひかわ』	800字～ 900字以内	議員本人 広報委員会	議員本人 広報委員会	広報委員会	広報委員会２回目の前日まで	１人１ページとし、関係のある写真または、図・イラストを１～２枚入れる。	質問に対し答弁まで、掲載できるよう検討している。
菊陽町 『きくよう』	１１文字２１行 ２段構成	議員本人	議員本人	議員本人	粗原稿ができて、本人に渡して一週間	見出しはQが２２文字、Aが３３文字でフォントはAが小さく 現行はデジタルで提出を基本にお願いしている。	質問に対する回答では、最後は「いる。ある。する。等」と確定した形で終えるよう構成を行っている。
嘉島町 『かしま議会だより』		広報委員会 事務局	広報委員会 事務局	広報委員会 事務局	発行月の第４金曜日の１週間前	あくまでも、作成の主体は広報委員の方々であるため、写真や原稿は早めに提出していただくこと。	限られたページ数であるため文字数等簡潔できるところは簡潔にし、町民の方々が解りやすい、読み易い紙面になればよいと思います。
益城町 『議会だより 清水』		議員本人	議員本人 執行部	議員本人 広報委員会	議会終了後１週間	・Ａ４　１枚 ・質問・答弁の１回目に簡単に要約文を入れる。 ・写真等２枚、１０．５ポイント、縦書き、４段、定型あり	個人攻撃しない。誤字・脱字をなくす。読者が見やすいように詰めて、簡潔な表現で。
相良村 『議会だより さがら』		議員本人	議員本人	議員本人 広報委員会 事務局	広報委員会開催の２～３日前まで	会議録と同じ文面で作成	会議録をもとに作成するため、文章の添削が難しい。発言内容が変わらないように気を付けている。

第3グループ	5　企画・特集記事			6　読んでもらうための工夫			7　その他
	（1）定期的に、企画や特集記事として掲載しているもの （例　住民紹介、追跡記事、議会用語解説　など）	（2）定期的ではないが近年、特に力を入れた（チャレンジした）もの	(3)今後取り上げてみたいテーマ （計画を含む）	（1）住民に読んでもらうために「紙面上」で工夫しているところ	（2）「紙面以外」で工夫していること （計画を含む）	（3）今後工夫したいと考えていること （実現するかどうかは関係なく）	広報紙発行における課題や広報研修会で取り上げてほしい事等
南関町 『南関町議会だより 山郷』	南関町で活動されているグループの「生の声を聴く」コーナー。 中学生が考える「南関町の未来」	常任委員会の紹介	全員協議会の内容の紹介	・写真やイラストを挿入し文字だけにしない。 ・Ａ４で横書きに統一。	・議会だよりを補完する内容をホームページで確認できるようにすることを意識。 ・一般質問の録画の公開など、まだ、実現していない。	（２）と同じ	住民に評価が高い記事（ネタ）や活動の取り組み事例
長洲町 『潮さい』	『傍聴席から』傍聴者から寄稿して頂いたものを、なるべく掲載している。	・２０歳を祝う会において、参加者に議会に対するアンケート調査を行い、結果を掲載した。 ・視察研修の結果を住民に伝えるため、全議員のコメントを掲載した。	歴代議員を取り上げる。（今の議会の感想、以前との比較について）	・表紙写真は、なるべく普段住民が目にしない場所や場面を選定している。 ・見出しや小見出し、写真・イラスト・表等を活用し、文字数を削減する。 ・ＵＤフォントの導入。	・補足的な情報を町議会ホームページに掲載し、紙面でＱＲコードで誘導している。	・質疑した議員名を表記しているが、その記載について検討する。 ・多くの町民の写真を出し、参画意識を持ってもらう。	・記事の内容を見出し（タイトル等）に集約する際のテクニック
西原村 『西原村議会だより ゆうすい』	住民紹介・国内外情勢等			・各紙面毎に色分けしている。 ・文字を色分けしている。 ・図・写真等を多く使う。			
氷川町 『氷川町議会だより 清流ひかわ』	最終ページに町内で話題に上がった人を取り上げている。また、学校関係行事等も取材して掲載するようにしている。 議会用語の解説も始めた。	タブレットを積極的に活用した議会改革を実施している。	議会と住民の対話（アンケートを含む）	特に表紙、そして裏表紙に力を入れ、議会だよりを手に取ってもらえるような写真構成を考えている。	町内の各種団体との意見交換会など	議会報告会	議決した事案がその後どのように扱われているかなど、議会目線で住民へ知らせる方法など
菊陽町 『きくよう』	ティータイムとして、様々な団体や個人で活動している人達を紹介 今年度からは議会の活動状況を紹介	子ども議会が今年で２回目だが、４Ｐを使って紹介している。	今後、広報調査特別委員会の中で打合せを行いながら検討していく。	文字は少なくて簡潔に分かりやすい表現で、写真やイラスト等 を活用して、先ずは見てもらえるように工夫している。	今までに１回だけの議会だより作成なので、委員長が紙面割及び記事の担当を意見を聞きながら決めたが、今後は紙面割以前に、全員で構成を話し合える時間が欲しいと考えている。	今年度からは、新しいメンバーで広報誌作りをしているので、皆の紙面づくり等へのアイデア出しを工夫していきたい。	一般質問の粗原稿ができてくるのが、定例議会が終わって３週間程度要しているので、それをもっと短縮できないかを模索している。
嘉島町 『かしま議会だより』	「みんなのフォトコーナー」 Ｒ５．７から「地域からこんにちは」 編集後記			文字、数字だけでなく、できるだけ写真やイラストを掲載すること			
益城町 『議会だより 清水』	特集記事として本町の各施設、保育園、幼稚園の紹介等を行った。	住民の意見（町・議会への要望）を聞き取りたい。	今後検討する	写真やイラストを使い、やわらかく、住民の目をとらえる。紙面から圧迫感を感じないようにする。	委員全員でまとめ上げる。個人の担当箇所と時間を明確にしておく。	・現在もできるかぎり議会終了後、１ヵ月以内に住民に届けたいと努力しているが、なかなか難しい。 ・委員の特性を生かした記事を書いてもらう。	広報紙はもちろん中身が大切と思うが、議会終了後、あまり時間をおいて住民に伝えても効果・興味も少なくなると思う。各町村の発刊の時期のとらえ方は。
相良村 『議会だより さがら』	採決結果（各議員の賛否）一覧表の掲載 研修報告 村内イベントや季節の写真の掲載			タイトルと文章で文字の大きさを分ける	村のホームページに掲載	表紙をもう少し工夫したい	